

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月22日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろPLUS

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|--|--|----|-----|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 2 | | ・適切な支援スペースを確保するために、活動ごとに机の配置等を変え、活動スペースを確保しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | 1 | | ・送迎を安全かつ効率的に行うため、一日の送迎や来所のスケジュールを立て、見通しを持って行動しております。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | 4 | | ・事業所入口等の段差にスロープを付ける、マットの下に滑り止めを付けるなどの対策をしております。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 8 | 0 | | ・シフト勤務に鑑み、一度に全員が揃う機会が取れないところにつき、細かな共有を行い広く職員の意見を集約しております。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | 0 | | ・ミーティング等で、職員が更に共有できることを意識してまいります。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | 0 | ・ホームページにより適切に公開しています。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | 2 | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 2 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | 0 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | 0 | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | 1 | | ・支援計画に沿い、更に細かな個別の活動プログラムを計画してまいります。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | | |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | 1 | | ・打ち合わせに出席できない職員には、必ず共有を行い、遺漏の無いようにしております。 | |

| | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 7 | 1 | ・業務日誌の活用や後日に情報共有を行っています。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | 0 | ・必ず日々の記録を作成しています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 0 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 7 | 1 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | 0 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 8 | 0 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 6 | 2 | ・保護者の皆さまを通して情報共有を行っています。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | 2 | ・保護者の皆さまからの情報や、法人内の児童発達支援事業所と情報共有を行っています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 6 | 2 | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 2 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 6 | 2 | ・なかよしクラブ等への迎えの際に情報共有を行っています。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 6 | 2 | ・ZOOM等で行っています。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | 0 | ・HUGIにおけるサービス提供記録での発信や、送迎時に情報支援をしています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 6 | 2 | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | 1 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | 0 | |

| | | | | | |
|------------|----|--|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | 1 | ・年度2回程度、保護者会の開催を行っています。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | 0 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | 0 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 8 | 0 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | 0 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 5 | ・春日井市が主催するイベントや企画への積極的な参加を通じ、地域との交流を更に図ってまいります。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 7 | 1 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | 0 | ・年度2回の消防訓練を実施しています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | 0 | ・外部及び法人内における研修を実施しています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 7 | 1 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 8 | 0 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | 0 | |